

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.19
平成24年10月25日

サッカー準優勝、男女バスケット優勝—態度でも—等賞！

10月16日（火）に行われた南ブロックサッカー・バスケット競技会で、桜小は好結果を残すことができました。女子バスケットは6連覇、男子バスケットは2連覇を果たしました。サッカーは弥生小に1対0で惜敗し、昨年引き続いて準優勝でした。得点力のある弥生小に対して、前半に不運な1点を押し込まれましたが、選手間の声かけや連携も良く、終始優勢にゲームを進めたとのことでした。「試合に勝って、勝負にまけた」と言われますが、まさに、そんな試合内容だったようです。

バスケット男子は、弥生小に対して28：26のワンゴール差で辛勝、バスケット女子も43対43の同点まで追い詰められましたが、オールコートマンツールのディフェンスでチャンスをつくり、54対45で逃げ切ることができました。

本当に固唾を呑むような試合展開でしたが、最後に勝利をつかむことができたのは、接戦になっても怯まない強いファイティング・スピリットと固いチームワーク、保護者や全児童の熱い声援のおかげだと思います。そして、何よりも前日の壮行会から見せた素晴らしい態度は、まさに優勝・準優勝するのにふさわしいものでした。本当におめでとうございます。

この結果を踏まえて、10月22日（月）の全校朝礼では「**おかげさま**」という話をしました。

全校朝礼の話より

みなさんは、「おかげさま」という言葉を聞いたことがありますか？

みなさんもうちの人が使っているのを聞いたことがあるでしょう。たとえば、「お元気ですか」「ええ、おかげさまで」というような会話を耳にします。

おかげさまの「かげ」という言葉の意味の一つに、「表面に現れないもの」という意味があります。自分の知っている人だけではなく、表面に現れない、目に見えない様々な人や物のお世話になっていることに「さま」をつけて「おかげさま」と言います。

たとえば、「給食を食べること」ができるのは誰のおかげでしょう？ 朝からずっと準備して給食を作って下さっている給食室の調理員の方々がいます。献立を作ってくださる栄養士の若杉先生がいます。それだけではありません。みなさんが給食をおいしく食べてもらえるように、毎日一生懸命になってお米や野菜を作って下さっている農家の方々もいます。

このように、目に見える人だけではなく、見えない「かげ」の力によっても、自分は支えられているのです。

桜小のみなさんの交通安全のためにいつもお世話下さっているスクーラーガードの方々や、保護者・祖父母の皆様もいます。そして、みなさんは、もっともっと多くの目に見えない地域の方々にお世話になっています。いいえ、地域どころか、全く会ったこともない遠くの人々の努力で、みなさんは、楽しく学校生活を送っていられたりするのです。

「そうか、自分が生きているのは、世の中のたくさんの方々のおかげなんだ！」

そのことに気付くことができたなら、その感謝の気持ちをまずは、周りの人びとにお返ししてみましょう。「この感謝の気持ちは、どうやって表したら良いのかな？」という問いに、1藤のMさんが「『ありがとう』と言います」と、しっかり答えてくれました。そうです、「ありがとう」と笑顔で心を込めて言うといいですね。そうすることで、感謝の気持ちが周りの人に伝わり、みんなの心が温かくなると思います。

みなさんも、「おかげさま」という感謝の気持ちを大切にしましょう